

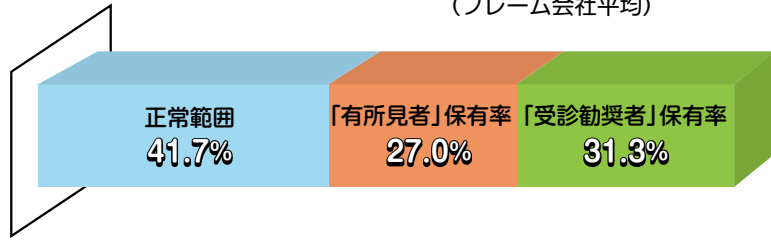
健康レポート報告

健康保険組合では、ニチレイ人事総務部健康推進グループと協働し、平成28年度健康診断結果データとレセプト(診療報酬支払明細書)を元に、『ニチレイフレーム会社健康レポート』を作成しました。

この健康レポートは、フレーム会社全社または会社ごとの健康状態の把握を行い、今後の健康増進の目安とするものです。

調査項目は「健診結果受診率」「特定保健指導終了率」「1人当たりの医療費の状況」「健康リスクの保有状況」等各種ありますが、今回はその結果の一部を皆さんにご紹介いたします。

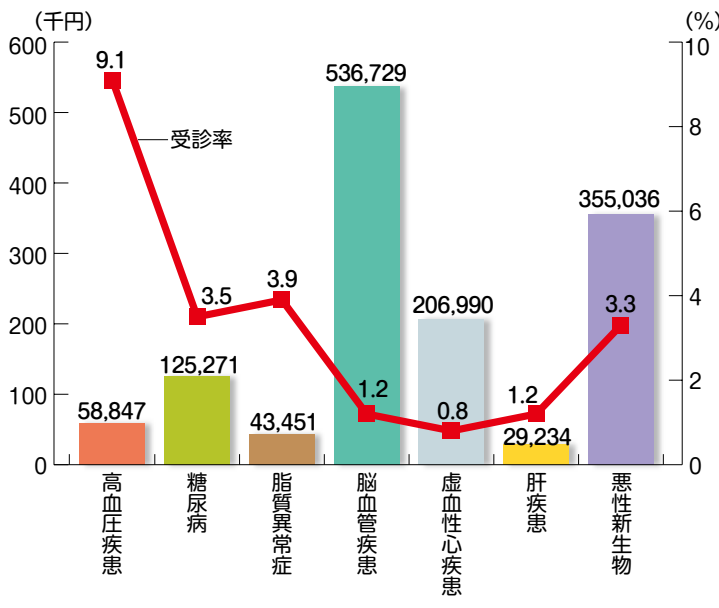
平成28年度 健康リスクの保有状況 (フレーム会社平均)



有所見判定の健康診断項目

健診項目	検査内容	有所見基準値	受診勧奨基準値
血圧	収縮期血圧 (mmHg)	130 以上	140 以上
	拡張期血圧 (mmHg)	85 以上	90 以上
脂質	中性脂肪 (mg/dl)	150 以上	300 以上
	HDL コルステロール (mg/dl)	40 未満	-
	LDL コルステロール (mg/dl)	120 ~ 139	140 以上
血糖	空腹時血糖 (mg/dl)	100 以上	126 以上
	HbA1c (%)	5.6 以上	6.5 以上

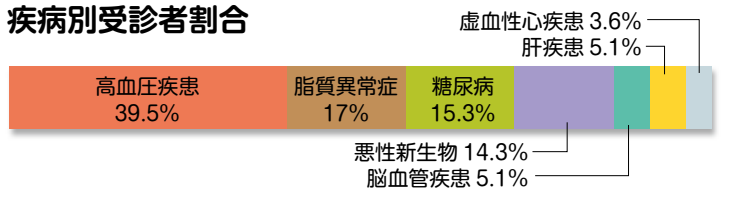
受診者1人当たりの医療費と受診率の比較



健康リスクの保有状況について

平成28年度のフレーム会社所属被保険者5,866人の健康診断結果から、①血圧 ②脂質 ③血糖の3項目における「健康リスクの保有状況」をお知らせします。レポートでは、上記3項目のうち1項目でもリスクがある方を「有所見者」、より数値が悪い方を「受診勧奨者」としています。「受診勧奨者」に当たる方に関しては、重大な疾病に発展する恐れがあり、速やかな医療機関の受診が必要です。すでに医療機関を受診しながら「受診勧奨者」に

疾病別受診者割合



このように、前回の健康診断項目のなかでも、とりわけ高血圧疾患での受診者数が多いことが分かります。高血圧疾患は長期的に放置すると重大な疾患につながる恐れがあります。通常の治療では医療費はさほどかかりませんが、重大疾患に発展した場合、医療費も非常に高額になります。適切な治療と生活習慣の見直しは何よりも大切です。

生活習慣病の発生状況について

平成27年4月から28年3月までの1年間の、被保険者の皆さんの生活習慣病による医療費発生状況をまとめました(上表)。このように、前回の健康診断項目のなかでも、とりわけ高血圧疾患での受診者数が多いことが分かります。高血圧疾患は長期的に放置すると重大な疾患につながる恐れがあります。通常の治療では医療費はさほどかかりませんが、重大疾患に発展した場合、医療費も非常に高額になります。適切な治療と生活習慣の見直しは何よりも大切です。

該当する方は、別途専門医へご相談願います。フレーム会社全体平均から見ると、半数以上の方が何らかの有所見基準に該当しているのがわかります(左上表)。また、全体のほぼ3分の1の方が「受診勧奨者」に該当しており、早急な改善が必要な状況です。